

乳 児 研 修

乳児の生活を組織するために大切な事（3歳未満児保育の充実）
指針にそって

- ①乳児は健やかにのびのびと育つ。
- ②身近な人と気持ちを通じ合う。 ★3つの視点が示されています。
- ③身近なものに関わり感性が育つ。

☆乳児では、特定な大人との応答的な関わり、つまり愛着形成のための関わりとして、（応答的）（受容的）である事が強調されています。
☆背景には、発達早期における非認知能力の重要性が、認められその基盤にアタッチメント（周囲の大人にしっかりくっつくことによる安心感）による信頼の感覚を育てるねらいがある。

環境を通して行う保育（2つの側面から子どもの健やかな発達）を考える。

- ①子どもの必要性を出来るだけ良く満たせる環境づくり。
- ②子育ての社会的支援。・・子育ては、社会全体の責任であることを、児童福祉法と言う法律で明言されるようになりました。

★現代の保育園の存在意義は、単に親の都合で子どもを預けるのではなく、子育ての社会的資源として活用されることで、本当に子どもが育つ場所としての役割を持つ事になります。

その場として役割を一言で言えば、子どもが愛される経験をすると言えるのではないのでしょうか。

■ 教育とはその人の人格を使ってする行為なのです。

- ①ひたすら子どもを愛すること。
- ②子どもを発達させること。
- ③モデルを見せること。

担当制について

★担当制の必要性

担当制は、子どもが家でお母さんと過ごすように、園でも過ごせるようにする事です。

幼い子どもは、一人の人から愛されたいと思うからです。その事で、子どもの中に愛着（アタッチメント）が形成され、安心感ができます。保育園で子どもの人数を考えた時いつも同じ保育者が一人の子どものお世話をすることで、一人の子どもを観察し子どもの発達や習慣をより深く知る事ができます。子どもの状態をよりよく知る事ができれば、それにふさわしい働きかけもできるようになり、子どもの発達を助ける事ができます。

★★保育園では、子どもに安心感を提供できるのは、保育士です。ではどのように担当制を取り入れたらよいか、その条件・留意点をまとめてみましょう。

1・入園前面接・慣らし保育

まずは、子どもを知る事から始まります。家庭の状況を聴き、親も数週間園に通ってもらい（慣らし保育）をします。その中でその中でその子どもがどういう子どもなのか、家庭での位置も含めて、親の話や、親子のやり取りの中で知っていきます。睡眠時間・生活に関する自立度・習慣・性格・どのような時に落ち着くのか、どのような事を怖がるのか、どのような状態なのか、親から聞きます。

☆☆保育園の日課や習慣、ルールなども親に説明していきます。（子どもの24時間の生活の流れを持ってきてもらう）

氏名 [REDACTED] 生 0 才 5 月

(記入例)







(入園前日)

月日	3/26日	3/27日	3/28日	3/29日	3/30日	3/31日
6	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	起床(5:40) 母乳	睡眠
7	起床 朝食	起床(6:20) 母乳	起床(7:00) 母乳(7:30)	起床(6:35) 母乳(7:30)	起床(7:00) 母乳	起床(7:40) 母乳(8:10)
8					排便	
9	あそび (室内)	8:45 排便	8:50 排便	母乳(8:40)	母乳(8:30)	母乳(8:40)
10	排便 公園	10:20 お買物	10:10 母乳(10:10)	9:50 排便	10:40 お買物	母乳(9:30)
11	昼食	母乳(12:00)	母乳(11:30) ミルク150ml 排便	お買物	母乳(12:30) お買物	10:55 お買物
12		ミルク140ml (13:00)	母乳(11:50)	母乳(12:30) ミルク160ml	母乳(12:30) お買物	12:20 排便
13		3:30 排便	母乳(13:15)	13:50 排便	母乳(13:30) ミルク160ml (14:00)	12:50 排便
14		4:30	13:50	13:50 排便	母乳(15:30)	14:20 母乳(15:00) ミルク140ml
15	おやつ	15:00 排便	ミルク140ml (15:00)	15:40 排便	母乳(15:30)	母乳(15:00) ミルク140ml
16		母乳(16:00)	母乳(16:00)	母乳(16:30)	外出	
17	買物	母乳(17:30) + 離乳食 (お風呂)	ミルク140ml (17:30)	17:30	お買物	お買物
18	TV	母乳(18:00) ミルク150ml	排便	母乳(18:30) ミルク150ml	17:30 お買物	17:30 お買物
19	夕食	母乳(19:40)	母乳(18:45)	18:45	お風呂	母乳(18:10)
20	入浴 お茶	20:50	母乳(19:00) ミルク160ml	19:15	母乳(19:00) ミルク150ml	ミルク150ml (19:10)
21		お風呂 母乳(21:30) ミルク150ml	20:55 排便	お風呂	母乳(21:30) ミルク150ml	排便
22		22:00 排便	母乳(21:30) ミルク160ml	母乳(21:30) ミルク150ml	母乳(21:30) ミルク20ml	母乳(21:30) ミルク110ml
23			お風呂 母乳(22:00) ミルク160ml	22:00 排便	22:00 排便	22:00 排便
0			22:55 排便			
1						
2						
3						
4					母乳(4:30) (お風呂)	4:50 母乳
5						5:40 母乳

◎記入方法：時間の所に起床・食事・睡眠・排便(尿)・おやつ・あそび(外内)・入浴・TVを見ている時間

おかゆ おかゆ にんじん おかゆ おかゆ じゃがいも

入園前の一人ひとりの日課について知る

なまえ マーク	日 課	食 事	睡 眠	あそび	その他
 6.21	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 起床 睡眠 食事 食事 睡眠 授乳 食事 風呂 睡眠 授乳 睡眠 授乳 授乳 授乳 授乳 授乳	抱っこ	うつぶせ あまり暗く しない	ガチャガチャ にビー玉入り オルゴール メリー	離乳食3回 時間不規則
 7.8	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 起床 食事 睡眠 睡眠 食事 睡眠 あそび ミルク 睡眠 食事 睡眠 授乳 授乳 授乳 授乳	テレビを見ながら 抱っこで	飲みながら眠る 指すい 横にいると寝る	ガラガラ	
 7.29	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 起床 授乳 仮睡眠 食事 睡眠 食事 入浴 授乳 睡眠 授乳 授乳	抱っこ	飲みながら ゆりかご 明るさ普通	はがため	
 8.16	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 起床 睡眠 食事 睡眠 授乳 睡眠 授乳 風呂 睡眠 授乳 授乳 授乳 授乳	抱っこ	ベッド 一人で寝つく 昼 カーテン 夜 異つ暗に する		
 9.7	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 起床 睡眠 食事 睡眠 風呂 授乳 授乳 授乳 授乳 睡眠	トックター	昼 肩をたたき 暗くする 夜 ぞい寝、授 乳しながら	ラッパ ビニールの本	
 10.11	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 起床 睡眠 食事 腰湯 M M 入浴 母乳 睡眠 母乳 母乳 母乳 母乳	抱っこ	抱いて、おんぶで 夜も昼も寝たら ベッパへ 昼 レースの カーテン 夜 暗くして		

このような一人ひとりの日課を、入園までに1週間くらい家庭で記録してもらいます。

・離乳食が不規則、テレビを見ながらの食事、飲みながら眠る子、睡眠時間が少ない、夜眠る時間が遅い子どもが多い等の点が気になります。それらについて親と話し合う必要があります。

★クラスの保育士の担当の子どもを決める

クラスの入る子どもが、把握できたら担当の子どもをそれぞれの保育士で分担します。

- 1・大人との良い関係をつくる。(愛着)
- 2・子どもを理解する。
- 3・個人の要求に応える(質の高い保育の提供)
- 4・大人から主体的に援助される事。

★保育士が、知っておくべき安心・安定する条件

- 1・生理的欲求が満たされている。
- 2・身体的欲求が満たされていること。
- 3・知的欲求が満たされている。

☆☆年齢的特徴や、個性を理解する。

★全ての子どもが大切にされる日々を過ごす一日の流れを作る。

	子ども(全職員)	早番(7:30~16:00) A	中番(9:00~17:30) B	遅番(9:45~18:15) C	備考
7:30		(出勤) 軽食の摂取・水やトイレ掃除・備置き			
8:00	洗面・洗面 歯磨き 朝の挨拶 手洗 朝の挨拶 手洗 朝の挨拶 手洗 朝の挨拶 手洗	→ 順次入れをしながら部屋のあそびを見る ↓ 子どもの排泄時間にあわせてトイレに行く	(出勤) 軽食入庫 コソ出・全職員 → 順次入れをしながら部屋のあそびを見る ↓ 子どもの排泄時間にあわせてトイレに行く		(部屋の換気をする) ①1時間毎に湿度をチェッカー記入する
9:00	戸外あそび 戸外あそびから戻り、排泄、手洗いを済ませ水分補給して、室内あそびをする	担当の子どもと戸外あそびの用意をする 戸外あそびから戻った子どもは排泄、手洗いを済ませ、部屋のあそびを見る	(出勤) 軽食入庫 コソ出・全職員 → 順次入れをしながら部屋のあそびを見る ↓ 子どもの排泄時間にあわせてトイレに行く	(出勤) 手拭きタオルの用意 → 担当の子どもと戸外あそびの用意をする	戸外あそび 月・木・土 園遊 火・木・土 散歩 立 陸園遊
9:30	戸外あそび 戸外あそびから戻り、排泄、手洗いを済ませ水分補給して、室内あそびをする	担当の子どもと戸外あそびの用意をする 戸外あそびから戻った子どもは排泄、手洗いを済ませ、部屋のあそびを見る	(出勤) 軽食入庫 コソ出・全職員 → 順次入れをしながら部屋のあそびを見る ↓ 子どもの排泄時間にあわせてトイレに行く	(出勤) 手拭きタオルの用意 → 担当の子どもと戸外あそびの用意をする	(部屋の換気をする)②
10:00	第1グループ食事を始める →食後ベッドで入眠する	→ 第1グループのベッドを詰める ↓ 担当の子どもを順番に誘う 大 塚 ま 式 嬢 食事の介助をする ベッドに誘う	(食事の準備をする) → 食 事 の 介 助 を 行 う → 第 1 グ ル ー プ の ベ ッ ド に 誘 う → 第 2 グ ル ー プ の 食 事 の 介 助 を 行 う → 第 2 グ ル ー プ の ベ ッ ド に 誘 う	担当の子どもと戸外あそびの用意をする 戸外あそびから戻った子どもは排泄、手洗いを済ませ、部屋のあそびを見る	(部屋の換気をする)③ カーテンを閉める
10:30	第2グループ食事を始める →食後ベッドで入眠する	→ 第2グループのベッドを詰める ↓ 担当の子どもを順番に誘う 大 塚 ま 式 嬢 食事の介助をする ベッドに誘う	(食事の準備をする) → 食 事 の 介 助 を 行 う → 第 1 グ ル ー プ の 食 事 の 介 助 を 行 う → 第 1 グ ル ー プ の ベ ッ ド に 誘 う → 第 2 グ ル ー プ の 食 事 の 介 助 を 行 う → 第 2 グ ル ー プ の ベ ッ ド に 誘 う	担当の子どもと戸外あそびの用意をする 戸外あそびから戻った子どもは排泄、手洗いを済ませ、部屋のあそびを見る	(部屋の換気をする)④
11:00	第3グループ食事を始める →食後ベッドで入眠する ★30分間隔で大人が睡眠チェックをする	→ 第3グループのベッドを詰める ↓ 担当の子どもを順番に誘う 大 塚 ま 式 嬢 食事の介助をする ベッドに誘う	(食事の準備をする) → 食 事 の 介 助 を 行 う → 第 1 グ ル ー プ の 食 事 の 介 助 を 行 う → 第 1 グ ル ー プ の ベ ッ ド に 誘 う → 第 2 グ ル ー プ の 食 事 の 介 助 を 行 う → 第 2 グ ル ー プ の ベ ッ ド に 誘 う → 第 3 グ ル ー プ の 食 事 の 介 助 を 行 う → 第 3 グ ル ー プ の ベ ッ ド に 誘 う	担当の子どもと戸外あそびの用意をする 戸外あそびから戻った子どもは排泄、手洗いを済ませ、部屋のあそびを見る	(部屋の換気をする)⑤
12:00	お昼寝準備 →食後ベッドで入眠する	→ 入眠を見守りながら午睡向けのTシャツをカゴに入れ、各自のベッドの下に置く →午睡のTシャツをしまえる →午睡シート、日記記入	(午睡の準備をする) → 入 眠 を 見 守 り な が ら 午 睡 向 け の T シ ー ツ を カ ゴ に 入 れ 、 自 自 の ベ ッ ド の 下 に 置 く → 午 睡 の T シ ー ツ を し ま える → 午 睡 シ ー ト 、 日 記 記 入	担当の子どもと戸外あそびの用意をする 戸外あそびから戻った子どもは排泄、手洗いを済ませ、部屋のあそびを見る	
13:00		☆食事をする	→ 運 送 ナ ッ プ 、 日 記 記 入 ★教材作り	☆食事をする ★教材作り	(午飯中) → 運 送 ナ ッ プ 入 庫 、 日 記 記 入 → 教 材 作 成 人 研 究 会 で 合 わ せ ク ラ ス の 討 論 等
14:00	目覚めの子どもお部屋に行く →バスでトイレの掃除	→ 教材作り	→ 担当の着脱、排泄の補助をする → 担当の着脱、排泄の補助をする → 担当の着脱、排泄の補助をする	担当の子どもと戸外あそびの用意をする 戸外あそびから戻った子どもは排泄、手洗いを済ませ、部屋のあそびを見る	→ 目 覚 め の 子 ども お 部 室 に 行 く → バ ス で ト イ レ の 掃 除 を 行 う → 教 材 作 成 人 研 究 会 で 合 わ せ ク ラ ス の 討 論 等

育児にたっぷり時間をかけられる一日の流れをつくること。

基本は、子どもの発達や、テンポに合わせて丁寧に育児する。

オムツ・トイレも一人ずつ誘いその子ができることを待ちながら出来ない事を助け、1つ1つの行為をゆっくり言葉で表し、説明していきます。

★養護と教育が一本化した保育

保育の中には、育児という部分と教育という部分があると思うが、それがお互いに関わり合っている。切り離すことはできない、育児をしながら、私たちは教育しているのです。

言葉と行為を一致させて育児行為をすることで、何を何のためにするのも、子どもと会話しながら世界でたった一人の大人と子どもの時間を作ること。

★順番を決める。

月齢や睡眠・食事に関してどの子がどのような生理的欲求があるのかを知り、最初に育児を始めるのは、A 保育士の担当の一番目は a ちゃん・二番目は b ちゃんと順番を決めていきます。遊び・トイレ・食事・睡眠の流れが自分の順番も含めて、毎日繰り返すことで、子どもは、行為の見通しもつくようになり、a ちゃんが終われば、(わたし・ぼく)の番ということを理解していきます。

★流れる日課 (規則正しい生活リズム)

保育園に通う子ども達にとって、最も大切なのは、流れる日課です。なぜかという、流れる日課は、保育園で過ごす子ども達に安心感や、落ち着いた雰囲気を提供します。

毎日の生活が同じように繰り返され、次にどんな行為をし、自分の順番がいつ回ってくるかがわかれば、それは子ども達に安心を提供し、こどもがその場に適応することを助けます。

☆☆流れる日課の大切な視点は、一人ひとりの必要性、今子どもが何を要求しているかです。その要求をみたすことができれば、個人的な接し方できていて質の高い保育を保障していることになります。

■保育者に求められていることは、個人を尊重し、丁寧に育児行為することで、子どもの主体性を育てることに大きな意味があるのだと思います。

★子どもの発達の何を助けるのか

乳児では、運動能力・認識能力・言語能力のそれぞれの分野の発達が盛んに見られる時期です。（大人の使う言葉の大切さ）を忘れないようにしましょう。

乳児の発達目標

①生活習慣の形成・集団生活の形成

☆習慣は人格をつくる。

②基本的運動発達と言葉の発達を助ける。

☆生活が自立する為にも微細・粗大運動の発達は大切。

③身体像を知る（育児の中で育つ社会性）

☆集団生活している子ども達にとって育児の時間は、大人と1対1になれる貴重な時間です。集団の中のひとりではなく、世界でたった一人の私として見てもらう事ができる。社会性の確立の大前提に（私）という感覚があることが大切と考える。

保育者の役割

★肯定的な存在としている。

保育者が見ていてくれる全てのこどもは、自立する力はあるが、その力が引き出せるのは、自分に関心を持った保育者が居る時に可能になる。

遊びの中でも

- ①子どもがしている遊び状況を見守りながら、関わっていくことがふさわしい。
- ②子どもがどうしているのか、つまずいても、自分で解決できるか見極める。
- ③子どもが自分で受入れるかどうかも選べるようなやり方をする。
- ④遊んでいる子どもの喜びを発見できること。

★★（遊びが大切）と言われていますが、まだ十分に遊びに価値はおかれていないように思えます。

遊びが（育ちの場）だと強調するためには、（学び）（学びの芽生え）という言葉を使っているが、保育者がしていることも、学びの支援だとの記載もあります。

■動画 1～2歳の育児（新任の3年間）

■遊び年齢による変化

参考資料

2歳児運動遊び

	走る またぐ・歩く	はう	座る しゃがむ	くぐる	とぶ	ころがす	体の伸縮	つながる	投げる あてる
基本型	物・大人・木のまわりを走る・歩く・追いかける・逃げる・よこばい・丘の登降・自分の合図で短い距離を走る・積み木渡り・はしごまたぎ	犬歩き・クマ歩き・仰向け・うつむけ・はらばい(ワニ)・背ばい(尺とり虫)・はいとび・カエルとび・クモ歩き・丸太ころがり	カッテコ		高い所(大人の腕・木の枝)にとびつく		クマ歩きの姿勢から股をのぞく	大人と両手をつないだ子のうしろにつながらる・つねり歩き	
座布団	頭にのせて歩く・持ってその場走り〜敷いてすわる	背中にのせ犬歩き・腹にしいてすすむ			とびこえる・大人がもつてぶどう狩り		「こぶがくつついた」体のあちこちにあてる		
ボール	植え込みのまわりをころがして歩く					大人とキャッチボール・まどにあてる・ベンチの上をころがし箱に入れる・つるさされたまどにあてる	こぶ		
布	両手で持って歩く・走る	敷いて腹ばい・床に敷いて手をおいて四つ足	お尻に敷いて・カッテコ		高いところにつるしてある布をとる		上下に強弱をつけてふる・足から頭まで軽くこすったりたたいたり		高くほおり投げる
フープ	床につなげておいて歩く・ころがしながら歩く・つかまわってまわり歩き・フープをかぶって持ち走る	床においで中に手をつき足をバタバタ	もちあげたりしゃがんだり前すわりで・かぶってもち左右に揺れる	上から下からかぶる・大人のもったフープをくぐる・犬・クマ歩き	フープをおいて中、外にとぶ	立てて転がす	両手で持ち前、横、上、下の位置で体をひねる		フープの中にお手玉を投げる
お手玉	頭にのせて歩く	背中にのせて犬歩き・クマ歩きで上をはいこえる・またをくぐら			大人の持ったお手玉にとんでさわる		こぶ・手の中に入れもむ		フープ、箱の中に入れる

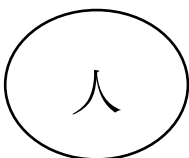
確認事項

■日課をつくる条件の中に理念・方針があります。

- ①遊びを保障する。
- ②子どもをむやみに待たせない。
- ③子どもをせかさない。
- ④戸外・室内の行為のバランス。
- ⑤育児は成長に伴って変化していく。
- ⑥共有しながら、担当の子どもを見る。
- ⑦保育室は子どものお城（遊びを守る）
- ⑧保育者は、遊びを見るのが中心

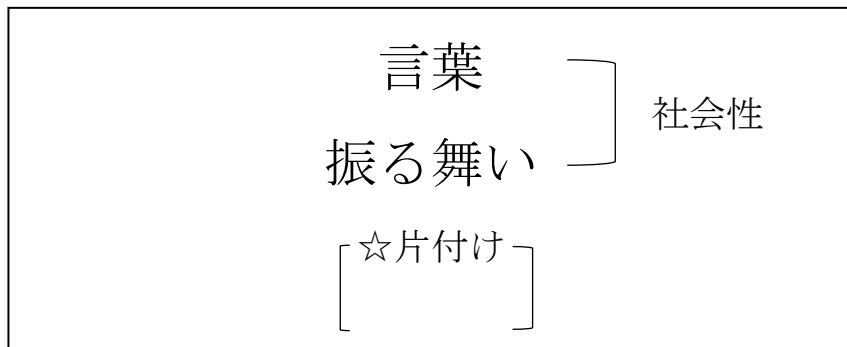
★★これらの条件が整って、子どもに安心・安定を保障することが出来る。

環境とは

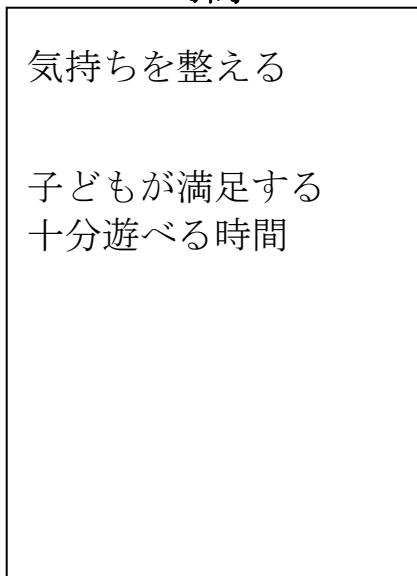


乳児期に盛んな発達する能力

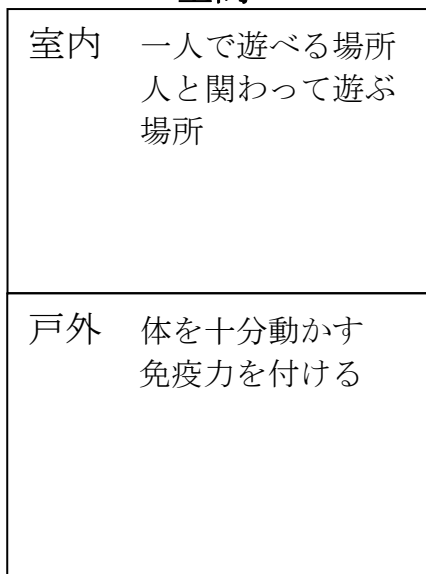
- ① 運動能力
- ② 言語能力
- ③ 認識能力



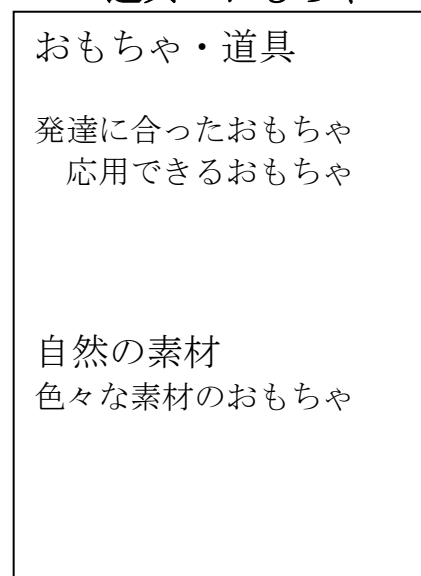
時間



空間



道具・おもちゃ



子どもの姿

一人でできるよ
もうできるよ